

## 『どこへいく？プラスチックごみの真実！』実施レポート

この講座では、実際に愛知県内の海に捨てられていたプラスチックごみやマイクロプラスチックを観察することができます。こうした体験を通すことで、プラスチックごみ問題を自分事としてとらえ、ごみを減らすための行動を促します。

2025年6月3日に田原市立泉小学校の5年生の皆さんが受講したときの様子を紹介します。児童やあいち eco ティーチャーから、こんな感想や宣言が寄せられました！



プラスチックのクイズに挑戦

使っているもののほとんどが、プラスチックだと思いました。(児童)  
ペットボトル本体とリングの素材がちがったことが、印象に残った。どちらも同じプラスチックだと思っていた。いつも気になっていたの、真実を知ってスッキリした。(児童)

マイクロプラスチックのことを知れてよかった。(児童)  
魚がごみを食べてそれを人間が食べちゃうかもしれないと印象に残った。(児童)



海ごみやマイクロプラスチックを観察



海に住む生き物の現状を見る

生き物たちがごみからまっていた写真を見て、こんなになってしまうと分かった。(児童)  
プラスチックごみによって生き物たちがこまっているということが知れました。(児童)

- 3Rを守りたい。
- 分べつをちゃんとする。
- マイバック、マイボトルを持つ。
- リデュースを心がけたい。(児童たちの宣言の一部)

児童の皆さんが海のごみ拾いを学校で実施した後の講座であり、理解度が高いと感じました。私たちも楽しかったです。(あいち eco ティーチャー)



今からやります宣言！  
児童も先生も発表